

ただいま成長中

滋賀県

五個荘洗心館

小学5年 笠松 愛芽梨

「思うは招く」

母のお店で食事をした時に壁にたくさん書かれたサインの中で、ロケットの絵の横にこの言葉がありました。母に「この人誰？」と聞いてみると、「植松努さんっていう安全なロケットを作った人よ。」と教えてくれました。私はどんな人か気になり、調べてみたり、植松さんの講演をYouTubeで観てみました。たくさんスピーチがあり、だったらこうしてみたらで世界は変わるなど、どれも分かりやすく、私が家族と話している事とよく似た内容がたくさんあり、植松さんの話は私の頭の中にスッと入ってきました。そんな中私はある言葉に引っかかりました。

「どーせ無理」

私はこの言葉にハッとしてしまいました。いつもできない事があるとこの言葉を言っている自分がいたからです。

私が剣道を始めたのは、幼稚園の時で姉がとても剣道が好きで毎日稽古をしていました。そんな姉について行くうちに、自分もやってみようと思いました。道場の中で一番小さかった私にみんな優しく、ちょっとできるようになるとすごくほめてくれ、それがうれしくてたくさん稽古をしてもっと強くなろうと思っていました。しかし、姉が高校生になり京都の学校へ行ってしまい一緒に稽古できなくなってしまった私は、まったく稽古だけでなく、剣道も嫌いになってしまいました。出稽古に行く事もなくなり、コロナの影響で道場の稽古もなくなり、私はますます剣道から離れていきました。

周りより早く始めた事もありまだまだ負けないと少し甘い考えでいたある日、私は同級生に負けてしまいました。ほんの一瞬のところどころで相手に旗が上がり、何が起きたのかわかりませんでした。「え？なんで？」心の中でそう思いました。その時私はすべての力が体から抜けてしまい、一気にヤル気を無くしてしまいました。試合後、先生の所に行くと、「稽古は積み重ね。ヤル気のない稽古してるからや。」と言われてしまい、はずかしい気持ちと、悔しい気持ちが体の中をぐるぐるんとかけめぐりました。

「今の私にはどーせ無理。剣道嫌いやし、稽古楽しくないし、みんな出稽古いってるし、勝てるはずがない。どーせ無理」

うちに帰ってそう話すと、家族は口をそろえて言いました。

「じゃあ辞めればいいよ。でも考えてみて、愛芽梨の考え全部前向きじゃないよね？前向きに考えてみれば成長するチャンスじゃない？」

何を言っているのかわからない私を見ながらニタニタしている家族に腹が立ってしまいました。前向きって何？成長するチャンスって何？そのときは何もわからず、ただモヤモヤした気持ちでイライラしながら、また稽古の日が来てしまい道場にはいくけれど、ただ時間が過ぎるのを待っていたのです。

自分が本当に剣道をしたいのかもわからないまま仕方なく稽古をしていた私でしたが、植松さんに出会って変わった気がします。どーせ無理と思っている自分はいろいろな言い訳をしてできない理由を探していたのです。自分に自信がなくて、失敗することを恐れて前に踏み出す勇気もなかったのです。失敗はマイナスではなく、やったことない事をやってみるチャレンジで、何度もあきらめずにチャレンジすれば、それが自信となるのです。たくさん失敗すればいい。そしてできない事や、わからない事は周りにきけばいい。私がたくさん仲間や先生に出会えた理由は、助け合うためなのです。そんな考えに変えた私にはたくさん仲間ができて、今は道場に行く事が楽しみでしかたなくなりました。

私はまた、何か嫌な事があったり、投げ出したくなる事があるかもしれません。それでもまた一歩前へ踏み出して行こうと思います。

「ただ今成長中」と大きな声で言いながら。